

主催：神戸・阪神間美術館・博物館連携プログラム実行委員会

後援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、芦屋市教育委員会、明石市教育委員会



文化庁

平成 28 年度文化庁  
「地域の核となる美術館・  
博物館支援事業」

先生のためのミュージアム活用術シンポジウム

# 「学校とミュージアムの連携について考える」

日時：2017年2月19日（日）13：30～17：00

（受付は13：00より）

場所：神戸市立博物館 講堂

定員：150名（要申込）

対象：教員・学校関係者、教育普及活動に携わる美術館・博物館関係者、  
教育や博物館学に興味のある学生や一般の方

13：35～14：20

基調講演Ⅰ「深い学びを実現する鑑賞の学習

ーミュージアムでしかできない学習をしようー」

【講師】上野 行一氏（美術による学び研究会主宰）

14：30～14：50

実践発表 ①神戸ファッション美術館 「防災ツールから授業を考える」

前 有香（神戸市立向洋小学校）

②兵庫県立美術館

「視覚に頼らず鑑賞する方法とは?!」

14：50～15：35

基調講演Ⅱ「新しい芽・眼を育むミュージアム」

【講師】<sup>うがや</sup>烏賀陽 梨沙氏（同志社大学講師、博物館教育）

15：45～16：55

パネルディスカッション「ミュージアム活用の今とこれから」

【パネリスト】藍原好浩（神戸市立博物館）、伊藤存（美術家）、勅使河原君江（神戸大学大学院人間発達環境学研究所）、  
前川芳輝（神戸市立小部小学校）、松本芳枝（三田市立けやき台小学校）、宮地初穂（神戸市立渚中学校）〔敬称略・50音順〕

「ミュージアム活用術」  
とは？



みゅーかつくん

「ミュージアム活用術」は、学校と美術館・博物館の連携の新たな在り方を提案するために、兵庫県内の11の文化施設が開催している研修会です。2013年度からはじまり、これまで多くの教員・学校と積極的な交流をはかってきました。本シンポジウムはその集大成として開催するものです。